

岡 谷

九条の会

2012・3・1

事務局 岡谷市長地片間町 2-5-5

TEL, FAX 0266-28-9230

ニュース No. 51

民主主義の典型といわれるワイマール憲法がありながら、政治と時代に嫌気がさした国民の圧倒的支持を受け、ヒットラー政権が登場し、国民の諸権利が停止されるに至った当時のドイツと、現在の日本はよく似ています。

脱原発、消費税、がんばろう日本、TPP、はっしズム、などと言っているうちに、いつのまにか衆参両院で、憲法審査会が動き始めています。3・11のような緊急事態に対応する条文がないからというのが、新たにもちだされた理由です。機会をみては鎌首をもたげてくる邪（よこしま）な動きに対しては、はやめに阻止しなければ、あとで臍（ほぞ）をかむこととなります。ご用心、ご用心。

活動行事の報告

1月9日（祝）平和たこあげ大会

凧上げはいつも天気晴朗にして寒気厳しき日となる。この日も典型的な諏訪の冬の日となった。凧の数もふえ、連も長くなり、アピールの言葉も、「さようなら原発」の訴えが多かった。さわやかな午後でした。

1月28日（土）さらば原発県民集会（松本）

会場の松本文化会館には定席の800人以上が集まり、「脱原発、暮らし方を変えよう」という熱気が会場に溢れ、基調提言、DVDによる事故直後の現場報告、詩の朗読、ソプラノ独唱、合唱と感動的な集会となりました。岡谷からも3組の夫妻を入れて十数名が参加しました。その一人が言いました。「運動の高揚の始まりを予感させるネ」と。

2月11日（土）講演会「原爆と九条」 藤森俊希

「今日の聞き手は明日の語り手」と一貫して語り部を通された前座さんのあとをついで、県原爆被害者の会会長として活躍中の藤森さんの「再び被爆者を作るな」という熱い思い。それにもかかわらず、現在152人の会員は高齢化しどんどん数を減らしている現状。チェニジアの青年が日本の「憲法九条」をすばらしいと賞賛し、だがなぜ日本は軍隊を持っているのかと聞かれたことなど訥々と話された。

今後の予定

3月11日(日) 黙ってはいられない! オール諏訪 3/11脱原発アクション「今女たちが原発を止める」

脱原発諏訪連絡会主催 岡谷市湖畔 諏訪湖ハイツ (別紙チラシ参照)

◎ 脱原発アピールウオーク 諏訪湖ハイツ前D51付近集合 13:00~

◎ 女性の声を聞く集い 諏訪湖ハイツ2階大会議室 14:00~

美咲、蒲生路子(浜岡原発静岡訴訟弁護団)さん等のスピーチ

映画監督 鎌仲ひとみさんの記念講演 参加費 800円

~~~~~  
原発事故1周年のこの日は、首都圏、大阪、福島(郡山)、メルボルンなど、海外も含め全都道府県にわたるさまざまな地域で、集会やデモ、国会をとりまく「ヒューマンチェーン」等さまざまな行動が繰り広げられます。長野県でも「サラバ原発3・11長野県大行進」が松本市で、松本城~松本駅の大パレードが行われるほか、長野市ほか各地でも工夫をこらした集会などが予定されています。皆で参加して「No原発」の意志を示しましょう。  
~~~~~

5月3日(憲法記念日) 諏訪地方憲法集会

記念講演「憲法は大災害にどう向き合おうとしているのか」

講師 湯浅 誠 (内閣官房震災ボランティア 反貧困ネットワーク事務局長)

諏訪市文化センター 13:30~ 参加費500円

◎ 第11期市民意見広告運動 例年通りチラシを同封しました。昨年に引き続き多数のご協力をお願いします。過去10回5月3日の全国紙に反戦平和の意見広告を掲載しています。本年は「反核」の主張が強く出ています。本年は賛同者の氏名の掲載はしません。賛同される方は一口1,000円を同封チラシの振替用紙で送金してください。

◎ 「さよなら原発」のシールステッカーが出来ました。自動車に取り付けられるようにマグネットになっています。1枚200円 シールを貼った車にあちこちで出会えるといいですね。お仲間にもすすめてください。(実物は10×14cm)

◎ 会員の伊藤政美、笠原忠夫両氏より、多額の篤志寄付をいただきました。ニュースの発行などに役立たせていただきます。たすかります。

